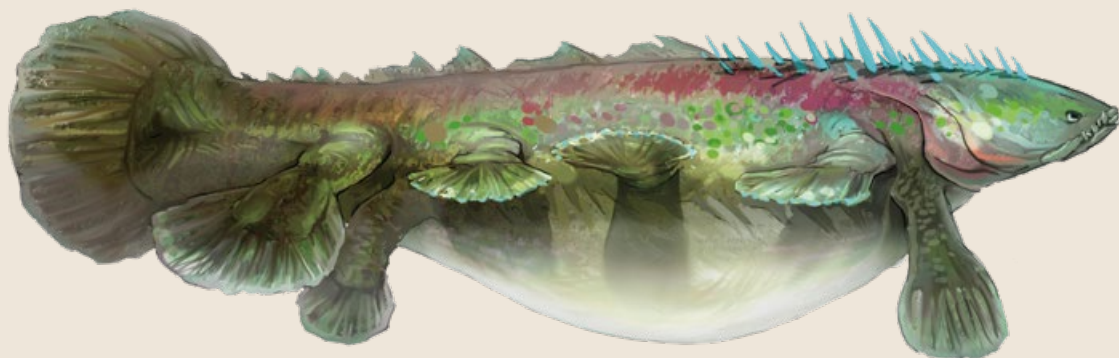


空想生物

Kudo Karin
工藤夏鈴

Creating fantasy creatures.

クリーチャーを描く



【光代魚】

大きなものでは60m近くになり、5~10匹の群れで泳ぐ姿は圧巻である。深い湖に沈んだかつての文明都市のみに棲みつき、鉱物化した殻を持つ巻貝を主食とする。消化できない鉱物成分は体表で再結晶化する。

2023

5/3^{wed.} - 24^{wed.}

open 10:00-18:50 会期中無休 観覧無料

秋田公立美術大学サテライトセンター

主催/秋田公立美術大学 企画・運営/NPO 法人アーツセンターあきた

協力/プラチナゲームズ株式会社、秋美生物部

お問い合わせ/秋田公立美術大学サテライトセンター (NPO法人アーツセンターあきた)

TEL 018-893-6128 FAX 018-893-6136

E-mail info@artscenter-akita.jp Web <https://www.artscenter-akita.jp>

秋田公立美術大学
AKITA UNIVERSITY OF ART

arts
center
akita



空想生物

クリーチャーを描く

Creating fantasy creatures.

1. 《光代魚の社》2017年
2. 《クルービオの渓谷》2018年
3. 《ケルブの森》2019年
4. 《商人と龍》2016年

工藤夏鈴 (くどう・かりん)

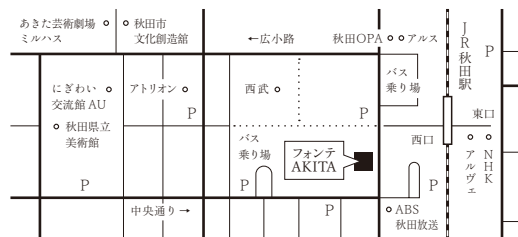
山形県山形市出身。秋田公立美術大学コミュニケーションデザイン専攻卒業。
2020年プラチナゲームズ株式会社(大阪市)入社、現在コンセプトアーティストとしてゲーム制作に従事。

工藤の箱庭 <https://oburato727.wixsite.com/kudounoniwa>
プラチナゲームズ株式会社 <https://www.platinumgames.co.jp/>

秋田公立美術大学サテライトセンター

所在地 / 秋田市中通二丁目8-1 (フォンテAKITA 6階)

※車で越しの方は、最寄りの有料駐車場をご利用ください。



お問い合わせ /
秋田公立美術大学サテライトセンター (NPO法人アーツセンターあきた)
TEL 018-893-6128 FAX 018-893-6136
E-mail info@artscenter-akita.jp Web <https://www.artscenter-akita.jp>

リアリティーを追求し、圧倒的な瞬間を切り取る

秋田公立美術大学の卒業生シリーズVol.11として、コミュニケーションデザイン専攻を2020年に卒業し、ゲーム会社に勤めながら空想生物(クリーチャー)を描き続けているアーティスト、工藤夏鈴を特集します。

工藤は子どもの頃、シカゴで恐竜の化石を見たことをきっかけに生物に対して憧れを抱き、生物学者や獣医師へと夢を変えながらも空想の生物を描いてきました。秋田公立美大入学後は、コミュニケーションデザイン専攻に所属。動物の生態を学ぼうと活動した生物部では、ニホンジカを解剖したり狩猟学や解剖学の講義を企画するなど生態に関する知識を深め、美術解剖学と向き合いました。

工藤が目指すのは、動物の構造や生態、生息する環境などから描く空想生物の「圧倒的な瞬間を切り取る」こと。架空でありながらも、どこまでもリアリティーを追求することで生まれる世界観がもつ迫力と存在感、その瞬間が、スケッチやラフから生み出されていきます。

架空の世界と空想生物

卒業後はゲームメーカー、プラチナゲームズ株式会社(大阪市)に勤め、数々のゲーム制作に携わる工藤は、背景モデルを制作するエンバイロメントアーティストを経て、コンセプトアーティストとして従事。作品イメージをコンセプトに添って視覚化し、ビジュアルとして表現した設計図はゲームにおいて重要な役割を担います。一方、個人では、リアリティーを追求した空想生物を描き続ける工藤。本展では、これまで描いてきた空想生物に加え、学生時代に生態を研究したニホンジカやイルカなどの骨格標本等を展示。情報量によって得られるリアリティーによって、見る人をその世界観に引き込む工藤の研究成果展でもあります。

空想生物

Kudo Karin
工藤夏鈴

Creating fantasy creatures.

クリーチャーを描く



【クルーピオ】

罪人の死体を捨てる谷に棲みつき死肉を喰うようになったドラゴンの成れの果て。死肉を喰らい続けた穢れで鱗や翼は落ち、皮膚は爛れ醜い姿となった。口から腐敗臭がする。名前はラテン語の *corruptio* 腐敗、破損の意

2023

5/3^{wed.} - 24^{wed.}

open 10:00-18:50 会期中無休 観覧無料

秋田公立美術大学サテライトセンター

主催／秋田公立美術大学 企画・運営／NPO 法人アーツセンターあきた

協力／プラチナゲームズ株式会社、秋美生物部

お問い合わせ／秋田公立美術大学サテライトセンター（NPO法人アーツセンターあきた）

TEL 018-893-6128 FAX 018-893-6136

E-mail info@artscenter-akita.jp Web <https://www.artscenter-akita.jp>

秋田公立美術大学
AKITA UNIVERSITY OF ART

arts
center
akita



空想生物

クリーチャーを描く

Creating fantasy creatures.

1. 《クルービオの渓谷》2018年
2. 《ケルブの森》2019年
3. 《商人と龍》2016年
4. 《光代魚の社》2017年

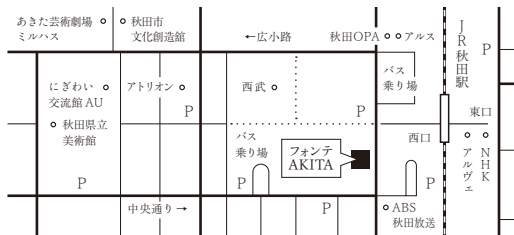
工藤夏鈴 (くどう・かりん)

山形県山形市出身。秋田公立美術大学コミュニケーションデザイン専攻卒業。
2020年プラチナゲームズ株式会社(大阪市)入社、現在コンセプトアーティストとしてゲーム制作に従事。

工藤の箱庭 <https://oburato727.wixsite.com/kudounoniwa>
プラチナゲームズ株式会社 <https://www.platinumgames.co.jp/>

秋田公立美術大学サテライトセンター

所在地/秋田市中通二丁目8-1 (フォンテAKITA 6階)
※車でお越しの方は、最寄りの有料駐車場をご利用ください。



お問い合わせ/
秋田公立美術大学サテライトセンター (NPO法人アーツセンターあきた)
TEL 018-893-6128 FAX 018-893-6136
E-mail info@artscenter-akita.jp Web <https://www.artscenter-akita.jp>

リアリティーを追求し、圧倒的な瞬間を切り取る

秋田公立美術大学の卒業生シリーズVol.11として、コミュニケーションデザイン専攻を2020年に卒業し、ゲーム会社に勤めながら空想生物(クリーチャー)を描き続けているアーティスト、工藤夏鈴を特集します。

工藤は子どもの頃、シカゴで恐竜の化石を見たことをきっかけに生物に対して憧れを抱き、生物学者や獣医師へと夢を変えながらも空想の生物を描いてきました。秋田公立美大入学後は、コミュニケーションデザイン専攻に所属。動物の生態を学ぼうと活動した生物部では、ニホンジカを解剖したり狩猟学や解剖学の講義を企画するなど生態に関する知識を深め、美術解剖学と向き合いました。

工藤が目指すのは、動物の構造や生態、生息する環境などから描く空想生物の「圧倒的な瞬間を切り取る」こと。架空でありながらも、どこまでもリアリティーを追求することで生まれる世界観がもつ迫力と存在感、その瞬間が、スケッチやラフから生み出されていきます。

架空の世界と空想生物

卒業後はゲームメーカー、プラチナゲームズ株式会社(大阪市)に勤め、数々のゲーム制作に携わる工藤は、背景モデルを制作するエンバイロメントアーティストを経て、コンセプトアーティストとして従事。作品イメージをコンセプトに添って視覚化し、ビジュアルとして表現した設計図はゲームにおいて重要な役割を担います。一方、個人では、リアリティーを追求した空想生物を描き続ける工藤。本展では、これまで描いてきた空想生物に加え、学生時代に生態を研究したニホンジカやイルカなどの骨格標本等を展示。情報量によって得られるリアリティーによって、見る人をその世界観に引き込む工藤の研究成果展でもあります。

空想生物

Kudo Karin

工藤夏鈴

Creating fantasy creatures.

クリーチャーを描く



【ミモリリュウ】

花の咲く海藻の森に生息している中型リュウ。
もともと空を飛び、水中の獲物を狙う翼竜の仲間だったが、
進化の過程で翼をヒレに変え水中に適応した。

2023

5/3^{wed.} - 24^{wed.}

open 10:00-18:50 会期中無休 観覧無料

秋田公立美術大学サテライトセンター

主催/秋田公立美術大学 企画・運営/NPO 法人アーツセンターあきた

協力/プラチナゲームズ株式会社、秋美生物部

お問い合わせ/秋田公立美術大学サテライトセンター (NPO法人アーツセンターあきた)

TEL 018-893-6128 FAX 018-893-6136

E-mail info@artscenter-akita.jp Web <https://www.artscenter-akita.jp>

秋田公立美術大学
AKITA UNIVERSITY OF ART

arts
center
akita



空想生物

クリーチャーを描く

Creating fantasy creatures.

1. 《ケルブの森》2019年
2. 《クルービオの渓谷》2018年
3. 《商人と龍》2016年
4. 《光代魚の社》2017年

工藤夏鈴 (くどう・かりん)

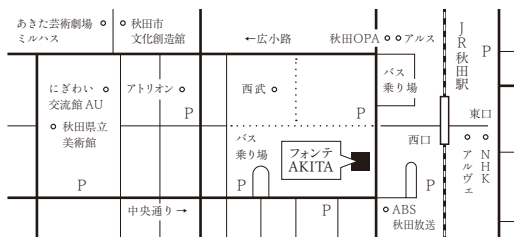
山形県山形市出身。秋田公立美術大学コミュニケーションデザイン専攻卒業。
2020年プラチナゲームズ株式会社(大阪市)入社、現在コンセプトアーティストとしてゲーム制作に従事。

工藤の箱庭 <https://oburato727.wixsite.com/kudounoniwa>
プラチナゲームズ株式会社 <https://www.platinumgames.co.jp/>

秋田公立美術大学サテライトセンター

所在地/秋田市中通二丁目8-1 (フォンテAKITA 6階)

※車で越しの方は、最寄りの有料駐車場をご利用ください。



お問い合わせ/
秋田公立美術大学サテライトセンター (NPO法人アーツセンターあきた)
TEL 018-893-6128 FAX 018-893-6136
E-mail info@artscenter-akita.jp Web <https://www.artscenter-akita.jp>

リアリティーを追求し、圧倒的な瞬間を切り取る

秋田公立美術大学の卒業生シリーズVol.11として、コミュニケーションデザイン専攻を2020年に卒業し、ゲーム会社に勤めながら空想生物(クリーチャー)を描き続けているアーティスト、工藤夏鈴を特集します。

工藤は子どもの頃、シカゴで恐竜の化石を見たことをきっかけに生物に対して憧れを抱き、生物学者や獣医師へと夢を変えながらも空想の生物を描いてきました。秋田公立美大入学後は、コミュニケーションデザイン専攻に所属。動物の生態を学ぼうと活動した生物部では、ニホンジカを解剖したり狩猟学や解剖学の講義を企画するなど生態に関する知識を深め、美術解剖学と向き合いました。

工藤が目指すのは、動物の構造や生態、生息する環境などから描く空想生物の「圧倒的な瞬間を切り取る」こと。架空でありながらも、どこまでもリアリティーを追求することで生まれる世界観がもつ迫力と存在感、その瞬間が、スケッチやラフから生み出されていきます。

架空の世界と空想生物

卒業後はゲームメーカー、プラチナゲームズ株式会社(大阪市)に勤め、数々のゲーム制作に携わる工藤は、背景モデルを制作するエンバイロメントアーティストを経て、コンセプトアーティストとして従事。作品イメージをコンセプトに添って視覚化し、ビジュアルとして表現した設計図はゲームにおいて重要な役割を担います。一方、個人では、リアリティーを追求した空想生物を描き続ける工藤。本展では、これまで描いてきた空想生物に加え、学生時代に生態を研究したニホンジカやイルカなどの骨格標本等を展示。情報量によって得られるリアリティーによって、見る人をその世界観に引き込む工藤の研究成果展でもあります。

空想生物

Kudo Karin

工藤夏鈴

Creating fantasy creatures.

クリーチャーを描く



【ワタリリュウ】

広大な土地を1年かけて移動しながら生きる。
古来からそんなリュウを飼いならし、共に旅をしながら
商いを生業とする人間の一族があるという。

2023

5/3^{wed.} - 24^{wed.}

open 10:00-18:50 会期中無休 観覧無料

秋田公立美術大学サテライトセンター

主催/秋田公立美術大学 企画・運営/NPO法人アーツセンターあきた

協力/プラチナゲームズ株式会社、秋美生物部

お問い合わせ/秋田公立美術大学サテライトセンター (NPO法人アーツセンターあきた)

TEL 018-893-6128 FAX 018-893-6136

E-mail info@artscenter-akita.jp Web <https://www.artscenter-akita.jp>

秋田公立美術大学
AKITA UNIVERSITY OF ART



arts
center
akita



空想生物

クリーチャーを描く

Creating fantasy creatures.

- 1.《商人と龍》2016年
- 2.《クルーピオの渓谷》2018年
- 3.《ケルブの森》2019年
- 4.《光代魚の社》2017年

工藤夏鈴 (くどう・かりん)

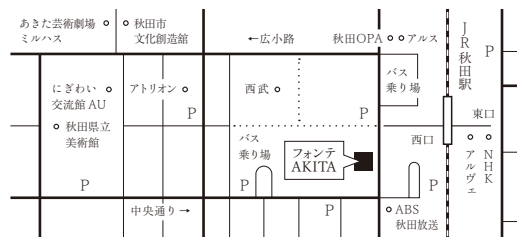
山形県山形市出身。秋田公立美術大学コミュニケーションデザイン専攻卒業。
2020年プラチナゲームズ株式会社(大阪市)入社、現在コンセプトアーティストとしてゲーム制作に従事。

工藤の箱庭 <https://oburato727.wixsite.com/kudounoniwa>
プラチナゲームズ株式会社 <https://www.platinumgames.co.jp/>

秋田公立美術大学サテライトセンター

所在地/秋田市中通二丁目8-1 (フォンテAKITA 6階)

※車で越しの方は、最寄りの有料駐車場をご利用ください。



お問い合わせ/
秋田公立美術大学サテライトセンター (NPO法人アーツセンターあきた)
TEL 018-893-6128 FAX 018-893-6136
E-mail info@artscenter-akita.jp Web <https://www.artscenter-akita.jp>

リアリティーを追求し、圧倒的な瞬間を切り取る

秋田公立美術大学の卒業生シリーズVol.11として、コミュニケーションデザイン専攻を2020年に卒業し、ゲーム会社に勤めながら空想生物(クリーチャー)を描き続けているアーティスト、工藤夏鈴を特集します。

工藤は子どもの頃、シカゴで恐竜の化石を見たことをきっかけに生物に対して憧れを抱き、生物学者や獣医師へと夢を変えながらも空想の生物を描いてきました。秋田公立美大入学後は、コミュニケーションデザイン専攻に所属。動物の生態を学ぼうと活動した生物部では、ニホンジカを解剖したり狩猟学や解剖学の講義を企画するなど生態に関する知識を深め、美術解剖学と向き合いました。

工藤が目指すのは、動物の構造や生態、生息する環境などから描く空想生物の「圧倒的な瞬間を切り取る」こと。架空でありながらも、どこまでもリアリティーを追求することで生まれる世界観がもつ迫力と存在感、その瞬間が、スケッチやラフから生み出されていきます。

架空の世界と空想生物

卒業後はゲームメーカー、プラチナゲームズ株式会社(大阪市)に勤め、数々のゲーム制作に携わる工藤は、背景モデルを制作するエンバイロメントアーティストを経て、コンセプトアーティストとして従事。作品イメージをコンセプトに添って視覚化し、ビジュアルとして表現した設計図はゲームにおいて重要な役割を担います。一方、個人では、リアリティーを追求した空想生物を描き続ける工藤。本展では、これまで描いてきた空想生物に加え、学生時代に生態を研究したニホンジカやイルカなどの骨格標本等を展示。情報量によって得られるリアリティーによって、見る人をその世界観に引き込む工藤の研究成果展でもあります。